

北区自治協議会 会議概要

第 6 回 北 区 自 治 協 議 会

開催日時	平成 29 年 9 月 21 日（木曜） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分	
会 場	北地区コミュニティセンター2階 大ホール	
出席者	委 員	倉島敏弘、松田正實、赤間松次、阿部康夫、五十嵐隆吉、本間藤雄、山賀好郎、若月則子、渡邊正廣、渡邊正之、阿部淳一、五十嵐紀子、上松鉄雄 内川えつ子、川居栄子、川島朝臣、工藤真美、後藤静枝、小林啓一郎、曾我美智緒、高口和則、高橋正寿、真壁麻優、村中美和子、阿部美恵子 梅津玲子、岡昌子、本間久文、若尾明弘、阿部恵美子 計 30 人 * 敬称略
	事務局等	副区長兼地域課長、区民生活課長、健康福祉課長、産業振興課長 建設課長、総務課長、北出張所長、東部地域下水道事務所北下水道課長、 北区農業委員会事務局長、消防局北消防署長、北区教育支援センター所長 豊栄地区公民館長、地域課長補佐、課員 2 人 計 15 人
内 容	<p>1 開会 会長あいさつ（略）</p> <p>2 報告事項            (1) 北区役所新庁舎建設基本・実施設計業務委託に係る簡易公募型プロポーザルの選定結果について            ◎報告資料 1 に基づき、総務課長が説明を行いました。            【主な意見・質問等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約方法はいろいろあるが、簡易公募型プロポーザルの意味は何か。またなぜその方法にしたのか。また提案した 9 つの業者とは県外か県内か。              →金額を比べる競争入札、コンペティション方式ともに検討した結果、企画提案して競うプロポーザル方式をとった。5 千万～7 千 900 万円までの金額であるため「簡易」とされており、企画提案を公募し、業者の能力を比べるため「プロポーザル方式」という。区民や各部署と検討をしながら、具現化していく作業が続くが、デザインを先に決めてしまうと区民の意見を反映するのが難しくなる場合もあるので、具現化できる能力をどれほどもった業者なのかをみた。応募できる業者は、新潟市内に限った。</li> <li>・ 平成 29 年度は基本設定、平成 30 年度は実施設計と聞いていたと思うが、継続して来年までやるのか。また実施設計があるとすると詳細設計はあるのか、またそれは随意契約になるのか。落札金額はいくらなのか。              →平成 29 年度は基本設定、平成 30 年度は実施設計とし、基本・実施合わせての予算額は 8 千万円を予定しており、本年度の予算 2 千 400 万円は既に議会で承認を得た。概ね 5 千平米としているが、これから検討を重ねながら面積を減らす努力をしていくた</li> </ul>	

内 容	<p>め、最終的に決まったところで最優秀業者と随意契約を行うことになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の業者に限ったことで、全国から募集した場合より、業者の選択肢や能力が限られるのではないか。</li> <li>→全国募集をする場合もあるが、北区役所についてはそれほど特殊な建造物ではない事務所であるため、市内の業者とさせていただいた。</li> </ul> <p>(2) 敬老事業の見直しについて</p> <p>◎報告資料 2 及び報告資料 2 追加資料に基づき、健康福祉課長が説明を行いました。</p> <p>【主な意見・質問等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会あたりの補助上限額が決められているが、複数の自治会が合同で敬老祝会をやっている場合はどうなるのか。</li> <li>→現在、複数の自治会等が合同で実施した場合は上限 6 万円、複数のコミュニティ協議会が合同でやった場合は上限 40 万円となっている。現在の見直し案では、上限額を設けない予定である。</li> <li>・敬老祝会に参加した人を対象とするのはいかがなものか。75 歳以上の寝たきりの人も今まで通り含めると考えていいのか。世代間交流などを考えて会を企画しているが、足が悪いために参加できない人もいるので、格差が無いように配慮していただきたい。</li> <li>→豊栄地区では現在すべての高齢者が対象となっているが、敬老祝金は基本的に祝会に対する補助金であり、様々な取り組みをしていただくことで補助額がなるべく下がらないようにしたい。試算しながら検討しているところである。</li> <li>・金額や使い道の限られた補助金を、ただ上辺だけ出してもらっても中々下の方まで沁みていかない。アスファルトの上ではなく、地面の上に水を撒くように、じわりと沁みていくような取り組みをしていただきたい。高齢者は増えているのに、敬老会は解散してしまうところも多い。自治振興会などの地元の寄付でなんとかやっているのが現状で、地域からの補助金がなければ資金不足でやっていけない状況である。スタンスを決めて、手厚い補助を検討いただきたい。</li> <li>→地域の皆さまが敬老会についてご苦労されていることは聞いており、高齢化も進んでいる。地域の高齢者の方が生き生きと活動できるよう、また無理のない形で敬老会が実施できるように考えていきたい。</li> <li>・見直し案では、祝会を開催することが補助の条件になるということだが、葛塚では祝会を開催する自治会は 4 割程度だったと思う。私たちの自治会では、祝会に欠席した人に対しても祝品を渡しているが、それに対しての補助はなくなるのか。また祝会を開催する自治会に対しては補助額をあげるのか。かつて一人あたり 1,800 円だったのが 1,000 円と下がっていて、足りない分は自治会から補填してきた。</li> <li>→限りある予算の範囲内で検討しなければならず、自治会の方々には早めに相談させていただきたい。祝会に参加できない、行きたくても行けない方もあり、自治会から負担いただいている現状も考慮しながら、引き続き検討を重ねたい。</li> </ul>
-----	---

	<p>(3) 部会の会議概要について</p> <p>◎報告資料 3 に基づき、各部会長が説明を行いました。 →質問や意見はありませんでした。</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 平成 29 年度北区自治協議会委員研修会について</p> <p>◎資料「平成 29 年度北区自治協議会研修会の開催日程」に基づき、地域課長が説明を行いました。研修開催日は 11 月 9 日（木曜）に決まりました。</p> <p>(2) 第 31 回新潟県ふるさとづくり大会 in 新潟市北区について</p> <p>◎PR チラシ「地域の力で健康寿命を延ばそう」に基づき、地域課長が報告を行いました。</p> <p>(3) その他</p> <p>◎資料「区制施行 10 周年記念誌「100 人インタビュー」発行について」に基づき、地域課長が報告を行いました。</p> <p>◎9 月 23 日に開催される「第 20 回福島潟自然文化祭」について、実行委員会委員長の五十嵐（隆）委員が見どころなどを案内しました。</p> <p>4 閉会</p>
傍聴者	3人
会議資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度 第 6 回北区自治協議会次第</li> <li>・報告資料 1：北区役所新庁舎建設基本・実施設計業務委託に係る簡易公募型プロポーザルの選定結果について</li> <li>・報告資料 2：敬老祝会事業 現制度の概要及び主な相違点（追加資料あり）</li> <li>・報告資料 2 追加資料：「地域で敬老会を取り組んでみませんか」</li> <li>・報告資料 3：北区自治協議会 部会会議概要</li> <li>・資料：平成 29 年度北区自治協議会委員研修会の開催日程</li> <li>・資料：区制施行 10 周年記念誌「100 人インタビュー」発行について</li> </ul>